



福島放技ニュース

THE NEWS OF THE FUKUSHIMA ASSOCIATION OF RADIOLOGICAL TECHNOLOGISTS

2017
5月27日号158
VOL.

発行所 公益社団法人 福島県診療放射線技師会

〒960-8003 福島市森合字蒲原16-7 TEL/FAX 024(559)1043

ホームページアドレス <http://fart.jp/>

巻頭言

#東北でよかった



副会長 平井和子

この原稿を書いている窓の外は、最近まで、満開の桜と桃の花がとても美しく咲き競っていました。放技ニュースが皆様のお手元に届くころには、すっかり花も散り、緑濃い5月の日差しになっていることでしょう。

桜の名所の一つとして住民から親しまれてきた富岡町夜の森地区は、約2キロにわたる、およそ400本の桜並木が美しいところです。原発事故の影響で町の全域に出されていた避難指示の大部分が、4月1日に解除されたことから、「桜まつり」が開かれ、TVのニュース等で大きく取り上げられました。しかし、桜並木の大半は、今も避難指示が出ている区域にあるため、立ち入りはおよそ300メートルの範囲に限られたとのことでした。

また、浪江町では「浪江町へおかえりなさい花火大会」が開催され、約300発の花火が打ち上げられる様子もTVで取り上げられましたが、いまだに多くの町民が戻れない暗い家々が花火の光で照らされていました。

その矢先、今度は今村前復興相の「(東日本大震災は)東北でよかった」発言が問題になりました。復興庁ができて5年になりますが、このわずかの間に多くの大臣が代わり、今度は、福島選出の吉野正芳議員が起用になりました。被災者の怒りをなだめる目的であることは明らかで、地元出身ではありますが、復興は本当に進むのだろうかと思わずにはいられません。

結局のところ、多くの犠牲者が出て、中央にとっては「あっちの方」の出来事なのではないでしょうか？特に東京が痛い目に遭わないと分からないのかもしれませんが、「政治家の失言は本音」とよく言われますが、政治家個人の責任で終わらせてはならないと思っています。

一方、大臣失言を逆手にとって、「#東北でよかった」という東北の素晴らしさを伝えるツイートが広がっています。三春町の滝桜、三陸鉄道、七夕祭りやねぶた祭り、古い街並みなど、東北の自然豊かな美しい風景やおいしい食べ物、祭りといった魅力的な画像であふれ、こうした人々の思いや誇りが「#東北でよかった」という形で拡散したことで救われた思いがしました。

私たち診療放射線技師は、放射線を扱う専門家として、その知識を生かし、地元の方々の役に立つ活動をしていくことが大事であると、改めて気を引き締めなければならぬと思いました。

さて、5月27日には、平成29年度県技師会総会が開催されます。また、2年に1度の選挙も行われ、新役員が誕生いたします。27～28年度担当していただきました役員の方々には、たいへんお世話になり、ありがとうございました。

福島県立医科大学 新医療系学部だより



福島県立医科大学
新医療系学部設置準備室
教授 久保 均 先生

今回から、その時点でお伝えできる新医療系学部についての準備状況等を順次ご説明して参ります。

報道などでご存じの先生も多いかと思いますが、福島駅前で県道福島・吾妻・裏磐梯線と国道13号線が交わる場所、福島学院大学駅前キャンパスと道を挟んだところ（福島市栄町）に、地下1階、地上8階建ての建物でキャンパスを作ることを計画しています。



(図：新医療系学部の建物建設予定地)

第一期生入学予定は平成33年4月で、それに向けて教員確保、施設設備整備、カリキュラムの作成等に着手しております。設置する学科は4学科で、理学療法学科、作業療法学科、診療放射線学科、および臨床検査学科です（全て仮称）。1学年の定員は放射線だけ25名、それ以外は40名です。どうして放射線だけ25名なの？という感じもいたしますが、計画時にコンサルタントに需給分析を依頼し、平成43年度（開設10年後）に需給バランスが取れるのがこの数という結果であったとのことでした。

そもそも、この計画は福島県が平成27年12月に策定し

た「保健医療従事者の新たな養成施設に係る基本構想」に基づいて県が設置・整備し、その運営を福島県立医科大学が行うという形になっております。そのため、現在は福島県と福島県立医科大学、そして福島市等が密接に連携しながら整備を進めているところです。

整備に関しての基本的な考え方は、

- 1) 高度な医療技術者を育成する教育・研究環境。
- 2) 多様な交流による、豊かな人間性の育成。
- 3) 時代に応じた最先端の医療分野への柔軟な適応。
- 4) 機能・環境面における周辺市街地との調和、活性化。
- 5) 運営の合理化、環境との共生、ライフサイクルコストの低減。

です。

また、教育における基本的な考え方は、

- 1) 高度な知識と技術を備えたプロの医療技術者の育成。
- 2) チーム医療の一員として役割を果たせる人材の育成。
- 3) 国際的な視野を持って活躍できる人材の育成。
- 4) 教育・研究の成果を世界に向けて発信。
- 5) 本県での活躍を志向する人材の育成。
- 6) 医療人としてだけでなく、人として成長できる場に。です。(県発表資料より)

まだ開設準備は始まったばかりですし、今後本学の卒業生は県内各地を始め全国に羽ばたいていくこととなりますので、臨床現場でご活躍の先生方のご希望やご要望等を十分に取り入れながら整備を進めて参りたいと思っております。また、地域医療への積極的な関与も求められておりますので、これについても先生方のご意見をいただきながら県立の大学としてどうあるべきか、を模索して参ります。新医療系学部の設置に関してご意見やご要望がございましたら、遠慮なく久保宛にご連絡いただくと幸いです。メールアドレスはkubo-h@fmu.ac.jpです。

どうぞ、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

～会長「オンレコ」～

～会員の皆さんの施設等の異動について～

会長 新里昌一

今回の会報・総会議案書の配送について、トラブルがありました。ご迷惑をおかけした会員の方には、会長としてお詫び申し上げます。

日放技と県技師会の両方に入会している方は、その両方へ異動の手続きをお願いいたします。同じ技師会ですが、個々に独立した組織です。会員の皆さんには、お手数をおかけしますが、両方の技師会ともホームページから異動の変更手続きをしてください。県技師会も皆さんへの周知が徹底していませんでした。皆さんのご理解とご協力を、宜しくお願いいたします。

「メールマガジン登録方法の案内」

配信を希望する方は...

fart@star7.jp

に空メールを送信してください。

登録完了メールが届きます。

いち早く技師会情報をゲットできます。

参加したくても、人数制限があるとき

「あるよね～」

技師会からの情報発信と共に、mailが届くから

「いいよね～」

地区だより

会津地区

平成29年4月22日(土)に放射線技師会会津地区協議会全体会と会津画像研究会がホテルニューパレスにて行われました。

1. 会津画像研究会

- ・一般公演「VTE（静脈血栓塞栓症）の診断と治療」
第一三共株式会社 造影剤・癌担当 齋藤 清氏



(研究会の様子)

・会員施設紹介

医療法人名精会 会津西病院 吉村弓子氏
西会津町国民健康保険西会津診療所 水谷和芳氏
(浅川)

県北地区

「平成29年度 県北地区協議会 全体会 開催」

平成29年5月12日 18時30分より福島県立医科大学附属病院 放射線部カンファランス室にて開催されました。



(全体会の様子)

《事業計画》

1. 研修会・研究会等の開催

(1) 勉強会の開催 (2～3回)

夏季勉強会 2017年7月29日(土): 夏季交流会併催

新年勉強会 2018年1月27日(土): 新年交流会併催

・話題となっている新しい技術等について、装置メーカー等から情報を提供していただく。

- ・各施設でまだ経験の浅い方を対象に発表のために研究内容の検証・発表資料の作成・発表の経験をつんでいただくような研修会の企画。
- (2) 学術講演会の開催
 - 最新医療の情報、新たな技術の情報等を習得できるような講演会を企画する。
- (3) 厚生活動(1)と共催
 - ・夏季交流会の開催（8月）、新年交流会の開催（1月）
 - 他施設会員との交流を通して情報の交換・共有を図る。
 - ・その他会員の厚生活動に関すること。
- (4) 学術、精度管理
 - ・原発事故に対する市民への情報提供等に対し、協力できるよう、資料を収集する。
 - ・福島県放射線技師総合学術大会、第6回東北放射線医療技術学術大会、県技師会主催学術講演会や生涯セミナーへの積極的な参加を促し、学術発表を支援する。
 - ・研究・開発・発表に対し学術奨励賞を助成する。
- (5) 啓発活動
 - ・原発事故による影響等、市民への助言・相談に努めるとともに 医用放射線の有効利用について啓発する。福島市健康フェスタへの参加によって、上述の啓発活動を実施し、放射線技師の仕事の理解を深めてもらう。
 - ・その他、啓発活動に関する大会や行事が行われた場合、積極的に参加する。
 - ・福島県原子力防災訓練等がある場合、技師派遣の要請に応じるなど協力する。
 - ・市民公開セミナー等の開催に協力する。
- (6) 東北地区協議会たよりの発行
 - ・東北地区協議会の活動状況、学術情報、施設紹介、新入会員紹介等を掲載する。
 - ・年2～3回の発行を予定し情報を提供する。
- (7) 福島県診療放射線技師会定期総会の開催
 - 総会に先立ち、市民公開講演を開催する。
 - 『現代の酒造り』東日本酒造協同組合
奥の松酒造 役員杜氏 殿川慶一先生
- (8) 東北地区協議会委員会・全体会の開催

全体会（5月）、委員会（6、9、3月）

- (9) その他 東北地区協議会として必要と思われる事業、行事等を随時行っていく。（安藤）

浜 通 地 区

「平成28年度浜通り地区協議会学術研究会を開催」
震災以前は浜地区総会時に学術発表を開催していましたが2011年以降中断されてきました。

今回、学術研究会として平成28年3月25日に開催されました。



(研究会の様子)

若い技師の皆様へ県、東北、全国での学術発表の準備となればという執行部の皆様の努力もあり、今回の研究会では6件の演題がありました。

継続して開催されることで浜通り地区協議会が活性化していくことを期待しています。（大井）

「平成29年度公益社団法人福島県診療放射線技師会
浜通り地区協議会の開催」

平成29年4月22日いわき市総合保健福祉センター多目的ホールにて平成29年度公益社団法人福島県診療放射線技師会浜通り地区協議会が開かれました。

浜通り地区協議会開催にあたり秋山委員長が挨拶されました。



(挨拶をする秋山委員長)

新人紹介のあとに協議会開催のため、議長・書記の選出を行い、その後に資格審査委員により全体会が成立したことを宣言されました。

29年度委員長に花井委員長が選出され相双地区主体による協議会が震災後初めて実施されます。

議長・書記解任後に大和田委員が閉会の挨拶で協議会が終了しました。(菅原)

県南地区

「平成29年度 県南地区協議会全体会」

開催日時 平成29年4月18日

19時00分～19時40分

開催場所 ピックアイ7階 第1会議室

出席者 会員総数 210名

出席者数 143名

(うち委任状出席121名)

司会の山口大氏(寿泉堂総合病院)により会が進行され、平成29年4月18日現在、県南地区会員数210名の内、出席者22名、委任状121名、計143名の出席者により本全体会が成立する旨の確認がなされました。

議長に佐久間守雄氏(星総合病院)、書記に鈴木俊一郎氏(寿泉堂総合病院)が選出され、議事が進行し、原案通り承認されました。

新役員に関しましては、次項以降に記します。

平成29年度県南地区協議会全体会に先立ち、教育講演を開催しました。

今回は、「福島県立医科大学 新医療系学部構想」と題し、福島県立医科大学新医療系学部設置準備室教授 久保均先生にご講演をお願いしました。

新キャンパスの場所や建物及び設備について、正式決定はこれから、と前置きされながらも具体的なお話を伺うことが出来ました。また、学部生を社会に輩出するまでの教職員の関わりを段階的に捉え、広い視野と深い視点で構想を練っていらっしゃる事、そしてその原動力が熱い情熱で衝き動かされていること、がわかりました。学部生を中心に、学部教職員と県技師会を車の両輪に譬え、更なる協調、連携を呼びかけられ、会員から教職員へ志願して頂ける方は是非にとのお声掛けもありま

した。(大学院後期課程を履修されていることが条件になるのですが...)



(講師の久保均教授)

臨床に携わる私たちと大学との連携の結果、「何を生み出すのか!!」今後が楽しみです。(白石)

編集後記

5月号には各地区協議会の新役員の皆様の名簿を記載させていただきました。詳しい各地区の役割に関しては紙面の都合上記載されていませんが、平成29、30年度も各地区協議会に会員の皆様の力が集まり、活気のある協議会になると思いました。(大井)

【編集広報委員会】

委員長	平井和子	北福島医療センター
副委員長	白石嘉博	星総合病院
委員	阿部雅浩	福島県保健衛生協会
	安藤智則	大原総合病院
	元木弘之	太田西ノ内病院
	國分美加	総合南東北病院
	浅川和広	南会津病院
	菅原正志	福島労災病院
	大井和広	小野田病院

【各地区協議会の新役員の紹介】

会津地区協議会

委員長	鈴木雅博	竹田総合病院
副委員長	森谷辰裕	会津中央病院
会計	山下朋廣	竹田総合病院
事務局	井上基規	竹田総合病院
"	早川努	竹田総合病院
委員	新村一成	坂下厚生総合病院
委員	遠山和幸	県立南会津病院
委員	小沼慎一郎	会津中央病院
委員	二瓶秀明	竹田総合病院
委員	長谷川和己	県立医科大学 会津医療センター
委員	小林瞳	竹田総合病院
委員	佐藤秀樹	坂下厚生総合病院
委員	板橋聡	飯塚病院附属有隣病院
委員	白岩大輔	会津中央病院
委員	平塚幸裕	県立南会津病院
委員	有松忍	県保健衛生協会 会津地区センター
委員	吉村弓子	会津西病院
委員	松枝直宏	竹田総合病院
委員	白川義廣	佐藤病院
委員	山田隆弘	会津中央病院

県北地区協議会

委員長	佐藤孝則	福島県立医科大学附属病院
副委員長	佐藤佳晴	公立藤田総合病院
副委員長	池田正光	福島県立医科大学附属病院
委員	阿部雅浩	福島保健衛生協会
委員	斎藤聖二	きらり健康生活協同組合 須川診療所
委員	阿部智	大原総合病院
委員	松井大樹	北福島医療センター
委員	小池沙織	北福島医療センター
委員	三浦勉	地域医療機能推進機構 二本松病院
委員	佐藤勝行	総合病院福島赤十字病院
委員	佐藤勝正	福島県立医科大学附属病院
委員	渡辺進	わたり病院
委員	樅山誠治	済生会福島総合病院
委員	安藤智則	大原総合病院
委員	相澤浩樹	総合病院福島赤十字病院
委員	宮岡裕一	福島県立医科大学附属病院
監事	笹木毅	公立藤田総合病院

県南地区協議会

委員長	鍵谷勝	総合南東北病院
副委員長	菅野修一	田村市立都路診療所
副委員長	濱端孝彦	坪井病院
事務局	佐久間守雄	星総合病院
財務	真船浩一	公立岩瀬病院
委員	元木弘之	太田西ノ内病院
委員	山口大	寿泉堂総合病院
委員	篠原宏幸	土屋病院
委員	照井英樹	太田熱海病院
委員	伊野拓郎	須賀川病院
委員	国分美加	総合南東北病院
委員	加藤利夫	日東病院
委員	石森光一	塙厚生病院
委員	大原亮平	太田西ノ内病院
委員	小室敦司	白河厚生総合病院
委員	伊藤敬	寿泉堂総合病院
委員	城戸修	白河厚生総合病院
委員	鈴木博紀	桑野協立病院
監事	鈴木博文	星富久山医院
監事	白石嘉博	星総合病院

浜通り地区協議会

委員長	花井辰夫	南相馬市立総合病院
副委員長	菅原正志	福島労災病院
副委員長	大和田重義	公立相馬総合病院
会計	久米本祐樹	南相馬市立総合病院
監事	大井和広	小野田病院
委員	布川真理子	渡辺病院
委員	田代和広	鹿島厚生病院
委員	鈴木規芳	呉羽総合病院
委員	佐藤龍一	いわき市立総合磐城共立病院
委員	高橋豊和	常磐病院
委員	折笠秀樹	いわき市立総合磐城共立病院
委員	船生晴雄	福田小児科